

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ほっぷ 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和7年12月11日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和8年2月4日		～ 令和8年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスの利用者との関わりの時間を設ける(サービス提供時間を14～16時まで混合する)ことで、同じ活動や時間を通じ、社会性を育てていく。	児童発達支援と放課後等デイサービスの両利用者が関われるような活動を行っていく。 ・ごっこあそび ・リズム遊び ・サーキット遊びなど	年齢差があっても、楽しめる活動や、遊びを行っていく。
2	チャレンジし、失敗してもチャレンジした経験を自信に変えられるように関わりを持つこと。	苦手なことでもチャレンジしたくなるように声がけし、できたことよりも、できなかった時にしっかり褒め、チャレンジできたことを自信につなげられるような声がけを行っていく。	非認知能力を育めるような活動や、関わりをもっと増やしていく。
3	日常生活に必要なスキル(トイレトレーニングや食事など)を身に付けることができる。	失敗を成功に替えられるように、声がけや根気強く関わりをしていくこと。	親御さんの協力もお願いしながら、家庭でも同じような取り組みを行ってもらう。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者合同での活動や、研修を行うこと。	保護者の思いやニーズ、困りごとについての打開策を提案できずにいる。	保護者同士、職員との関わりを持てるようなイベントや研修を計画していきたい。中には、利用していることを周囲に知られたくない保護者もいるので配慮しながら行えることを考えていきたい。
2	たくさんの方の特性に応じた支援の対応。	保育士以外の専門職員(STやOT)がいないため、支援の幅が限られてしまっている。	専門の分野の研修や、有資格者の助言を活かしていく。
3			